

関西テレビが7月12日配信した「【独自】滋賀・甲良町 3000万円着服 元職員を直撃」の報道に衝撃が広がっています。管理の甘さ、いえ、管理ナシのスキを衝いた手口の一部が明るみに。 **関西テレビの配信を原文のまま紹介します。**

滋賀県甲良町の29歳の元職員が、窓口で受け取った住民税など、約3000万円を着服していたことが分かりました。

関西テレビの独自取材に元職員が語った、驚きの動機とは？

【元職員】

「僕という人間が生きている中で、なるようにしてなったという認識が強いんで。着服をしてなかったら死んでます。死んでます余裕で」

自分には着服の道しかなかった...カメラを前に堂々とかう話すのは、甲良町の税務課に勤めていた29歳の元職員です。

【元職員】

「罪悪感はありましたが、『しめしめ感』というか、おっ、今日は来たなっていう気持ちが、だんだん増えていった。欲を満

たしたいっていう気持ちが比重として大きくなっていった」

元職員が着服に手を染めたのは、税務課に配属されて4年半ほど経った、2014年1月ごろ。

きっかけは自らの些細なミスでした。

【元職員】

「(税金を)管理しているなかで、仕事場から隣の会計室にお金を持っていくことを忘れてしまって、数日経って現金どうしよう、自分で管理しよう。何も問題にならなかった。誰も気付かなかった」

滞納者からの徴収や納付データの整理などを一任されていたという元職員は、町の杜撰な管理体制を突こうと考えました。

一体どんな手口で着服していたのかと言うと...

税務課の窓口には、住民税などを口座引き落としにしてい

ない高齢者などが現金を持ってやってきます。

着服全額は3,000万円超 判明!! 「真の被害額」解明に総力を

元職員は現金を受け取ると、納付書の控えを渡します。本来ならこの後、現金と納付書を隣の会計室に持っていくのですが、元職員は納付書を自分の机に保管し、現金は自分の懐に入れていました。

その上で、不正が発覚しないように納付データの改ざんまでしていたのです。

今年1月に別の職員の指摘で発覚するまで、元職員が着服した額は、2年間で3000万円にのぼります。

【元職員】

「ずっと同じ仕事していると、ある程度信頼して納税してくださっている。中には、僕がいなかったら足を運びなおす人もいて、逆にそういう人の納付は着服しやすかったと、今となっては思う」

元職員に税金を手渡したことがある町民は...

【納税者】

「(人柄は)普通に思えたんですけどね。それでも奥にそれ(悪意)が潜んでいたと思うとすごく残念」

町民の信頼を逆にとり、不正に手を染めた元職員。

周囲はなぜ、2年間も気付くことができなかったのでしょうか？

【甲良町・北川豊昭 町長】
「収納促進のために努力しているということで、我々もその手腕を買っていたというのが軽率だった」

元職員1人に業務を任せていたため気付かなかったという甲良町。

業務上横領の疑いで、近く元職員を刑事告訴する方針です。

元職員は今年3月に懲戒免職となり、着服した3000万円は両親が全額返済していますが、インタビューでは不正について周囲に責任転嫁するような発言もしていました。

【元職員】

「(仕事量と比べて)そこまで金もらってねえしなあ」

(Q. どうすれば不正は防げた?)

「すべて(職場環境の)責任にしてしまうと、盗人猛々しい

と言われるかもしれないが、環境が。環境が作ってしまったなと。不満が積み重なっていくのと比例して、自分のポケットマネーにしていく金額が増えたとはいえます」

被害額 3,370 万円

7月11日、議会全員協議会が招集され、「一定の調査を踏まえ」認定した被害額が報告されました。報告によると「認定した被害額約3370万円」です。

西澤議員らの質問で判明した主な事柄は、

内訳 = 着服額が約3000万円。調査費が370万円。

約3000万円は1月18日からの調査により積み上げたもの。

約3000万円の根拠・内訳は公開できない。

3000万円は、元職員が着服した全額 = 「真の被害額」とはならない。

西澤議員は「真の被害額」解明のため、行政、議会が総力を挙げるべきだと提起しました。

甲良民報

2016年7月17日 672号
発行責任：日本共産党甲良町議員
連絡：甲良町在土463(西澤)
Tel: 38-4949 Fax: 38-2242

ご意見・ご要望をどうぞ。

くらし・税金・教育などの相談は 西澤伸明 38 4949 丸山光雄 38 3123 松元たけし 38 3875

日本共産党の見解を紹介します。メール shigakoura.jcp@ares.eonet.ne.jp ホームページもご覧ください【「西澤伸明」で検索】